

広 報

2010 年10月号

編集責任者 江村 公良
毛塚 博行

※ 地区研修会の補講を近々に行います。日時等はFAXにて追ってご連絡いたします。

※ 11月のレセプト提出日は8日（月）です。

返戻を含む紙レセプト、猶予期間のフロッピーの提出はこの日にお願いします。

※ オンライン化後も、処方せん受付枚数、広域医療機関受付枚数の報告は継続してお願いしております。FAXでもよいのでよろしくお願いいたします。

※ 今年の健康展は12/5（日）です。出動協力お願いいたします。

今年は新たに「公開講座」の開催もあり、出動要請人数が増える見込みです。よろしくお願いいたします。

都薬関連およびその他の重要な連絡事項など

1) 向精神薬過量服用患者への声かけ等の取組み提言と処方せん確認の徹底

当広報9月号にて「自殺予防週間」のポスター掲示のお願いをしましたが、それと関連いたしまして、精神科受診者の処方せんの確認と患者様が精神医療を適切に受けられるよう、以下の厚労省の提言にご協力のほどお願いいたします。

過量服薬への取組み ～薬物療法のみに頼らない診療体制の構築に向けて～ 厚生労働省自殺うつ等対策プロジェクトチーム（平成22年9月9日）

取組1：薬剤師の活用～「薬剤師は過量服薬のリスクの高い患者のゲートキーパー」の要旨
例えば、向精神薬等を長期に処方されている患者については、薬剤師から、患者に対して「良く眠れているか」、精神科を受診していない患者に「精神科を受診しているか」などの声かけをすることや、必要に応じて処方医に疑義照会を行うなど、患者が適切な精神医療を受けられるよう医療従事者間の連携を深めるといった役割が期待される。

自殺の危険性の高い人の早期発見、早期対応を図るため、自殺の危険を示すサインに気づき適切な対応を図ることができる者を、自殺対策分野においては「ゲートキーパー（門番）」と称しています。

- 2) 日本ジェネリック製薬協作成「ジェネリック医薬品啓発ポスター」の申込みについて
上記協会で、作成されましたポスターを無償配布して下さるので、必要な方は豊島区薬剤師会事務局にお申込み下さい。(A3サイズ) 〆切
A4サイズの場合はホームページからのダウンロードもできます。
<http://www.jga.gr.jp/index.htm> または、「ジェネリック協会」で検索
1、トップページの左側コンテンツ内「ジェネリック啓発資料」をクリック
2、ポスターの項の下部、「こちらよりA4ポスター…」をクリック。プリントして下さい。

- 3) PTPシート誤飲防止対策について～国民生活センターの報告をふまえて
9月15日付、国民生活センター報告書「注意！高齢者に目立つ薬の包装シートの誤飲事故」が発せられましたことを受け、厚労省から注意喚起の徹底依頼がありました。かねてから注意喚起が行われていたことですが、高齢者の増加もあって、いまだに発生しているものがあります。
○調剤時には可能な限り、PTP包装シートを1錠ずつ切り離さないようにし、やむを得ず切り離し調剤する必要があるときには、服薬指導時に患者および家族等の介護者に対して、PTP包装シート誤飲防止のために特段の注意喚起を行う。
○高齢者、誤飲の可能性のある患者および自ら医薬品の管理が困難と思われる患者等、PTP包装シートの誤飲の危険性が高いと考えられる患者については、一包化調剤の導入など、を検討し、医師に照会するようお願いいたします。

※PTP包装誤飲防止のポスター（日本薬剤師会、日本病院薬剤師会、日本製薬団体連合会共同作成）が医薬品医療機器総合機構のホームページにありますので、ご活用下さい。

- 1、URL：<http://www.info.pmda.go.jp/>
または、「医薬品医療機器」あるいは「pmda」で検索
2、トップページ下部「医療関係者向け医薬品医療機器関連情報」の「医薬品関連情報」の項、下の方、「医療安全情報」をクリック
3、「関係団体からの医療安全情報などについてのお知らせ」をクリック
4、【業界団体】11行目（10月15日時点）
『錠剤（PTP包装医薬品）の誤飲防止について』をクリック

4) 【OTC医薬品情報】新たに承認された第1類医薬品

オキシコナゾールを含有する膣錠が発売となります。以下の2製品です

- オキシナゾールL100（田辺三菱製薬）
○フェミニーナ膣カンジタ錠（小林製薬）

今までオキシコナゾール硝酸塩は水虫治療薬（外用）として販売されていましたが、膣カンジタ用の膣錠ははじめての上市です。また、膣カンジタ用膣錠は、すでに、ミコナゾール硝酸塩、イソコナゾール硝酸塩製剤が上市しております。

5) 登録販売者試験の受験申請における実務の証明における注意

このたび、試験には合格したものの、「実務経験証明書」に不備があり合格取り消しになったケースがあったそうです。

不正はもとより、改ざん等はなされないでしょうが、記入漏れ、勘違いでの記載もあってはなりませんので、慎重かつ厳格に記載の上、申請され、試験に臨むようお願いします。

6) 【再掲】都薬ホームページ上でのe-ラーニング講座の試聴期間延長について

東京都薬剤師会では会員の学習を支援する方法のひとつとして、インターネットによる

研修を考慮中です。昨年より試験的に、『e - ラーニング』を運用しております。ご視聴いただいて、アクセス数の動向の分析や、ご意見により、今後の都薬生涯学習システムの参考にさせていただきたい次第です。

当初はこの7月に終了予定でありましたが、更なる普及啓発が必要として、視聴期間を1年間延長することといたしました。

内容：都薬生涯学習特別委員会と協力くださるNPOが協議の上、1年間24講座を提供（2週間毎に1講座）

協力：特定非営利法人 医療教育研究所（IME）

方法：東京都薬剤師会ホームページの会員ページからログインする
インターネットによるe - ラーニング

期間：平成22年8月2日（月）より1年間（予定）

費用：無料

※試験運用のため認定シールや修了証の発行はありません

7) 「薬局・薬剤師の『年間カレンダー』」

日薬ホームページからのダウンロードとなります。

11月～1月のテーマは「感染症対策」（予定：11月上旬ホームページ掲載）。

保険部より

1) 保険医療機関コードの確認をお願いいたします

都道府県番号、医科・歯科の区別、医療機関コードの調剤報酬明細書への記入についての経過措置期間が9月調剤分までで終了しました。10月1日以降の処方せんについては、コード番号の記載があるかどうかの確認をお願いいたします。記載のない場合は、処方せん発行医療機関に問い合わせてください。

2) 法別番号51（特定疾病）、法別番号52（小児慢特定疾患）のマル都医療券の確認のお願い

調剤報酬明細書には特記事項欄に上の医療券の適用区分を記載することとなっております。切り替え時期に区分が変わることもあり、注意が必要です。別紙をご参考の上、確認、記載をお願いいたします。なお、国保連合会からも10月上旬に各薬局宛に案内が届いていますので、お読みください。

※ 保険関係の情報が必要な会員薬局さまは、

社団法人 豊島区薬剤師会 ホームページ 保険部グループページ

に詳細な資料がアップされております。

【保険部グループページへの登録のお誘い】

登録の際にメールアドレス、自ら決めたニックネームとパスワード、が必要となります。ご用意してから登録を開始してください。

①豊島区薬剤師会ホームページの会員専用ページに入ってください。

入り方は豊島区薬剤師会からの連絡事項に記載されております。

②保険部の項目の「Google グループ 豊島区薬剤師会 保険部」のアクセスのところをクリックしてください。

③初回は登録が必要です。「メンバーに申し込む」「オーナーに問い合わせる」

- 「グループにログイン」のいずれかをクリックしてください。
 (登録完了後からは「グループにログイン」をクリック)
 ④情報登録をしてください。必須以外のところは記入しなくてかまいません。
 ⑤改めて、会員専用ページから、グループページに入ってください。このときには
 「メンバーに申し込む」をクリックしてください。指示に従いすすんでください。
 これで、作業は終了です。
 ⑥承認されるまで少し時間がかかる場合もございます。承認されたいアクセス可能となります。

豊島区薬剤師会からの連絡事項

- 1) 豊島区薬剤師会ホームページをぜひご覧下さい
 ホームページの内容が充実してきました。今後もより良いページを作りたいと思います。
 (FAX や配布物などはいままで通りです。ご心配無く。)
 ホームページアドレス <http://www.toyoyaku.jp/>
 会員専用ページに入るには、パスワード toshima を使ってください。

学術部より

- 豊島区薬剤師会学術勉強会のお知らせ
 1 1月の勉強会は区民センターで行います
 日時：11月18日(木) PM8:00～9:30
 場所：区民センター4F 第3・第4会議室
 内容：「高血圧症に対するこれからの降圧薬の使い方」
 講師：日本大学大学院総合科学研究科生命科学
 日本大学医学部内科学系 腎臓高血圧内分泌内科学分野 教授 福田 昇 先生
 ☆今回の勉強会は薬剤師研修センターの認定単位となります。

池袋あうる薬局より

1 1月の輪番は以下の通りとなっております。出動よろしくお願いいたします。

お願い ～輪番に入る 7日前までに、出動する方の氏名をあうる薬局まで連絡してください。

11月	日 勤 9:00 ～ 16:30		準 夜 16:00 ～ 22:00	
3日(水)	まえだ薬局	薬局アポック	大澤第一薬局	千川薬局駅前店
6日(土)	▲	▲	▲	平和通り保健薬局
7日(日)	くりさき薬局	くりさき薬局	大澤第一薬局	北大塚薬局
13日(土)	▲	▲	▲	かもめ薬局
14日(日)	メイプル薬局	うずらやま薬局	あづさ薬局	佐藤薬局
20日(土)	▲	▲	▲	北池薬局
21日(日)	千川調剤薬局	くりさき薬局	佐藤薬局	
23日(火)	大澤第一薬局	メイプル薬局	千川薬局駅前店	
27日(土)	▲	▲	▲	エンゼル薬局
28日(日)	メイプル薬局	うずらやま薬局	北大塚薬局	千川薬局駅前店

長崎地区休日輪番薬局

11月	
3日(水)	ホサカ薬局
7日(日)	ほてい薬局
14日(日)	高橋薬局
21日(日)	カテイ堂薬局
23日(火)	ホサカ薬局
28日(日)	エンゼル薬局

理事会報告

10月7日(木) 午後8時より豊島薬業会館1階会議室にて理事会が開催されました。
 出席者：大澤会長 遠藤副会長 江村副会長 小杉副会長 毛塚常務理事 佐藤常務理事
 森常務理事 田崎常務理事 斉藤常務理事 田中理事 鬼倉理事 黒須理事 元谷理事
 日下理事 国岡理事 石塚理事 栗崎理事

記録係：高石

○前月分理事会議事録承認

○ 報告事項

- 1、都薬支部長会報告
- 2、医師会講演会(10/14)の件
- 3、医歯薬合同講演会の件
- 4、健康展関連、公開講座の報告
- 5、「池袋あうる薬局運営委員会」報告
- 6、保険部報告
- 7、学術部報告
- 8、豊島区防災会議報告
- 9、薬学生受入の件
- 10、豊島区がん対策委員会の件
- 11、会員数報告

A会員	112名
B会員	22名
合計	134名

会員退会

南谷 和佳 (B) あづさ薬局 北大塚2

会員変更

田中 能里 (A) → (B) 千早町薬局 千早2

○審議事項

- 1、豊島区への平成23年度予算要望書の内容が承認された

管理センター報告

管理センター売上及び仕入

平成22年9月売上金額 ￥5,395,472

平成22年9月仕入金額 ￥5,751,788

保険部報告

広域病院処方せん受付状況報告

都立大塚		都立豊島		老人医療センター	
件数	枚数	件数	枚数	件数	枚数
1887	2072	51	55	74	82

池袋あうる薬局処方せん受付状況報告（9月）

休日夜間 205枚

その他 487枚

学術トピックス

『薬の標的「Gたんぱく質」化合物結合の仕組み解明』

奈良先端科学技術大学の伊東教授とアステラス製薬などのチームは細胞間の情報伝達などを担い、薬の標的として注目される「Gたんぱく質」に化合する詳しい仕組みを突き止めた。Gたんぱく質のポケット部分に化合物が突き刺さり、働きを妨げていた。血栓や心筋梗塞、がんの予防・治療薬などへの応用が見込める成果という。

Gたんぱく質は細胞膜の内側にあり、細胞運動や遺伝子の活性化などにかかわる。このためGたんぱく質の働きを調節する化合物は薬剤候補になると期待されている。アステラスが開発した化合物「YM-254890」を使い、Gたんぱく質との結合部位や構造を、X線で詳しく調べた。Gたんぱく質が持つちょうつがい構造にある「ポケット」に化合物が突き刺さり、ちょうつがいが開閉できなくなってGたんぱく質の活性が失われていた。

人のGたんぱく質は約20種類が知られており、微妙にポケットの形状が異なる。今回の化合物が結合したのは3種類だけだが、ポケットの形状に合う化合物を作れば他のGたんぱく質を調節でき、薬に応用できるとみている。

日 経 産 業

H22・7・13

豊島区薬剤師会の活動（9月）

- 9／ 2（木） 豊島区介護保険事業推進委員会
在宅意見交換会
- 9／ 4（土） 東京都薬剤師会会員委員会
- 9／ 7（火） 豊島区薬剤師会地区研修会
- 9／ 8（水） レセプト提出
豊島区薬剤師会理事会
- 9／ 9（木） 東京都薬剤師政治連盟パーティー
福祉審議会
豊島区医歯薬協議会 合同研修会打合せ
- 9／11（土） 東京都薬剤師会支部長会
- 9／14（火） 豊島区薬剤師会正副会長会議
- 9／16（木） 公害診療報酬審査会（池袋保健所）
豊島区薬剤師会学術勉強会（メトロポリタンプラザ）
- 9／18（土） がん特別講座（平成帝京大学）
- 9／21（火） 池袋あうる薬局運営委員会
- 9／24（金） 班長会
在宅医療連携推進会 服薬支援部会開催
- 9／25（土） 薬事衛生自治指導員講習会（科学技術館）
- 9／30（木） あうる薬局棚卸し

管理センター取り扱いリスト追補

- * 新規取り扱い（過去に中止または停止したものの再開、リスト作成時に漏れたものも含む）
今回はありません

* 管理センターへの注文時および納品時に関するお願い

管理センターの業務の円滑化のために下記の事項を守って下さるようお願いいたします。

《注文時のお願い》

- ① 注文は専用の用紙を使用してください。
(お手元に無い場合は事務局まで連絡を頂ければ FAX またはメールにて送ります。
また、豊島区薬剤師会ホームページからのダウンロードも可能になりました。)
- ② 一枚での注文は 10 医薬品までとし、欄外への記載はしないでください。
(欄外への記載は読み間違いを起こす要因になります)
- ③ 一度使用した用紙を使用しての注文はしないでください。
(消し忘れによる注文の重複が起きたり、読み間違いの要因になります)

《納品時のお願い》

- ① 注文品の受け取り時には、すみやかに検品を行うようお願いします。
(「センター出庫品の返品・交換は、受取日（＝納品日）の翌開局日まで。」
となっております。)

以前からお願いしている事項ですので、お守り頂けない場合は改めて注文して頂くか出庫を見送らせて頂きます。

管理センターの円滑な作業と間違い防止のため、ご理解ご協力のほどお願い致します。

(管理センター所長 江村 公良)

- * 管理センターの取り扱い品リストをご希望の方は豊島区薬剤師会事務局までお申込ください。
(電子媒体の分は最新更新版をお渡しできます。)

E メール添付ファイルは無料。フロッピーディスク、紙のコピーは 500 円です。

尚、豊島区薬剤師会ホームページの会員ページから取り出すことも可能になりました。

- * 管理センターでは、会員様の要望の多いものにつきまして、取り扱いを検討し、採用するか否かを決定する資料として使用します。つきましては下の要望書に記入し、毎月のレセプト提出時に事務局に提出してください。集計管理上、1 枚 1 品目とし、複数の場合はコピーしてお使いください。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（きりとり）・・・・・・・・・・・・・・・・

医薬品管理センター取り扱い要望書

平成 年 月 日

薬局名 _____ 印 _____

以下の製品の取り扱いを要望します

製品名	規格